

神津島の火山活動解説資料（平成 28 年 6 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 2）

前浜南東遠望カメラ（天上山の南西約 3 km）による観測では、天上山山頂部に噴気は認められません。

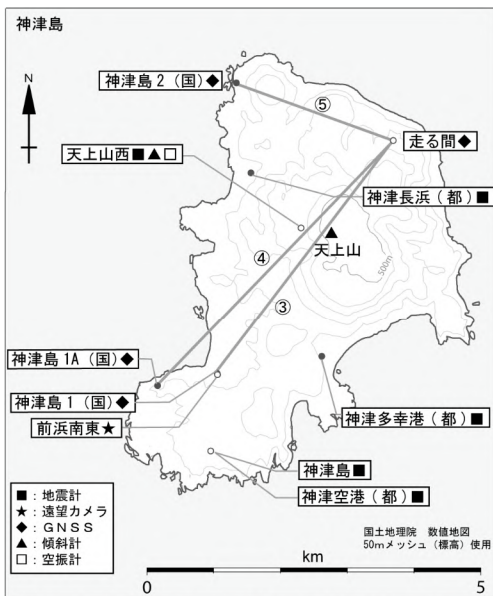
・ 地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）

神津島付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しています。
火山性微動は観測されていません。

・ 地殻変動の状況（図 1、図 3 - ~ ）

GNSS¹⁾連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国) : 国土地理院、(都) : 東京都

図 1 神津島 観測点配置図

GNSS 基線 ~ は図 3 の ~ に対応しています。
神津島 1 から神津島 1A に 2014 年 9 月 19 日移設。



図 2 神津島 天上山山頂部の状況
(6 月 18 日、前浜南東遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) で
も閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 28 年 7 月分）は平成 28 年 8 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用
して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』『数
値地図 50mメッシュ (標高)』を使用しています (承認番号 : 平 26 情使、第 578 号)。

【計数基準の変遷】

A 型地震

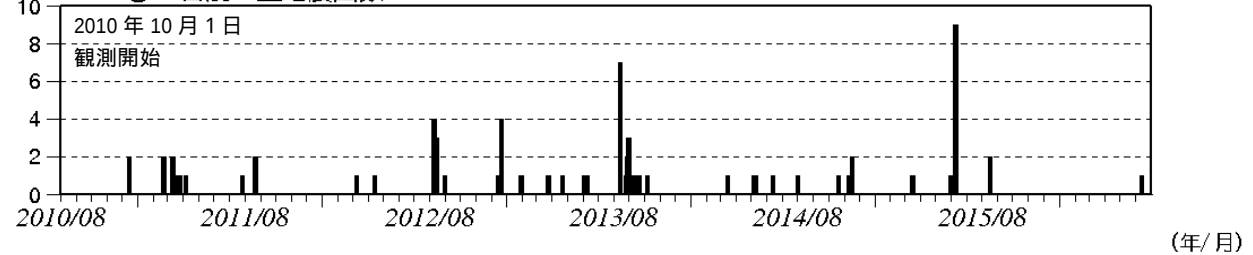
2010 年 10 月 1 日（観測開始）～ 天上山西から半径 5 km、深さ 15km 以内

B 型（BH 型、BL 型）地震

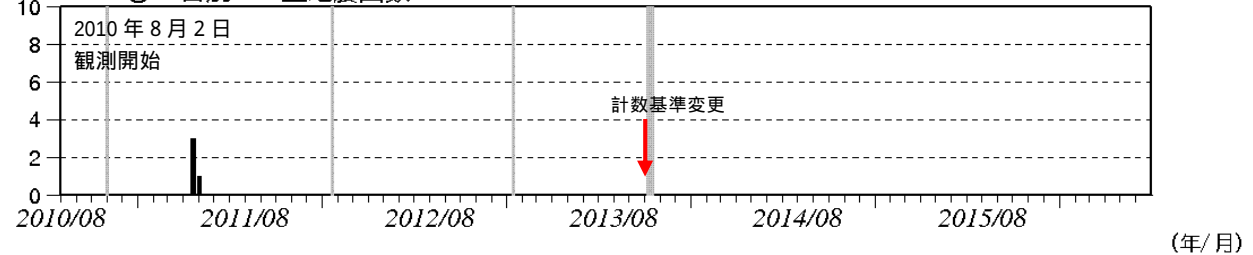
初期 2010 年 8 月 2 日～2013 年 9 月 30 日 天上山西振幅 $0.8\mu\text{m/s}$ 以上

変更 2013 年 10 月 1 日～ 天上山西振幅 $4.0\mu\text{m/s}$ 以上

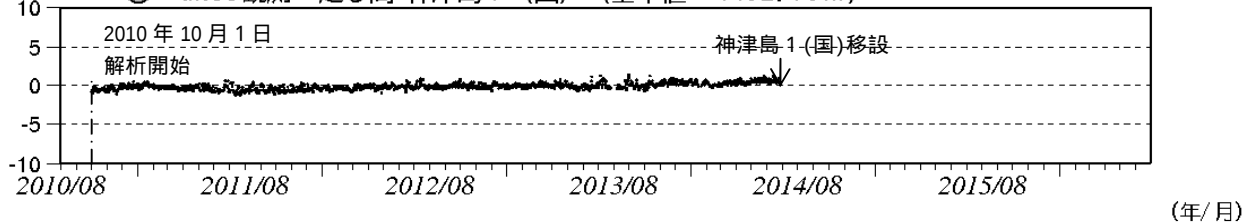
① 日別 A 型地震回数



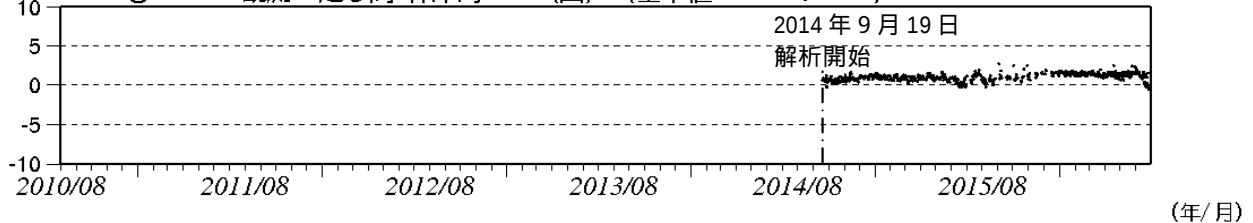
② 日別 B H 型地震回数



③ GNSS観測 走る間-神津島 1（国）（基準値 4402.70m）



④ GNSS観測 走る間-神津島 1 A（国）（基準値 5139.44m）



⑤ GNSS観測 走る間-神津島 2（国）（基準値 2517.78m）

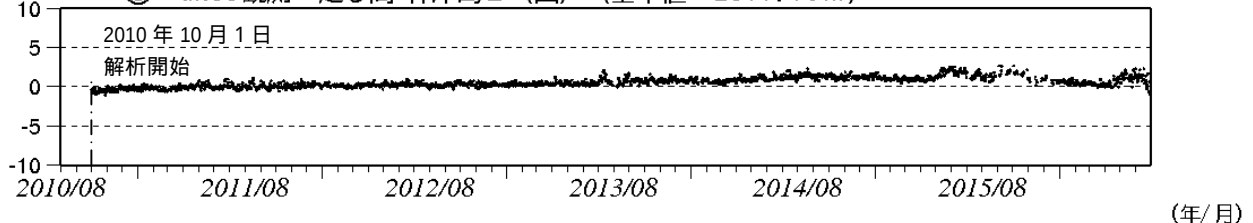


図 3 神津島 火山活動経過図(2010 年 8 月 2 日～2016 年 6 月 30 日)

～ 神津島周辺の日別地震回数

- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ・ 3 月に B 型の低周波地震と計数していた地震は、崩落の可能性が高いと判断したため削除し、では B H 型地震を表示しています。

～ GNSS 連続観測による基線長変化（国）：国土地理院

- ・ ～ は図 1 の GNSS 基線 ～ に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を示します。

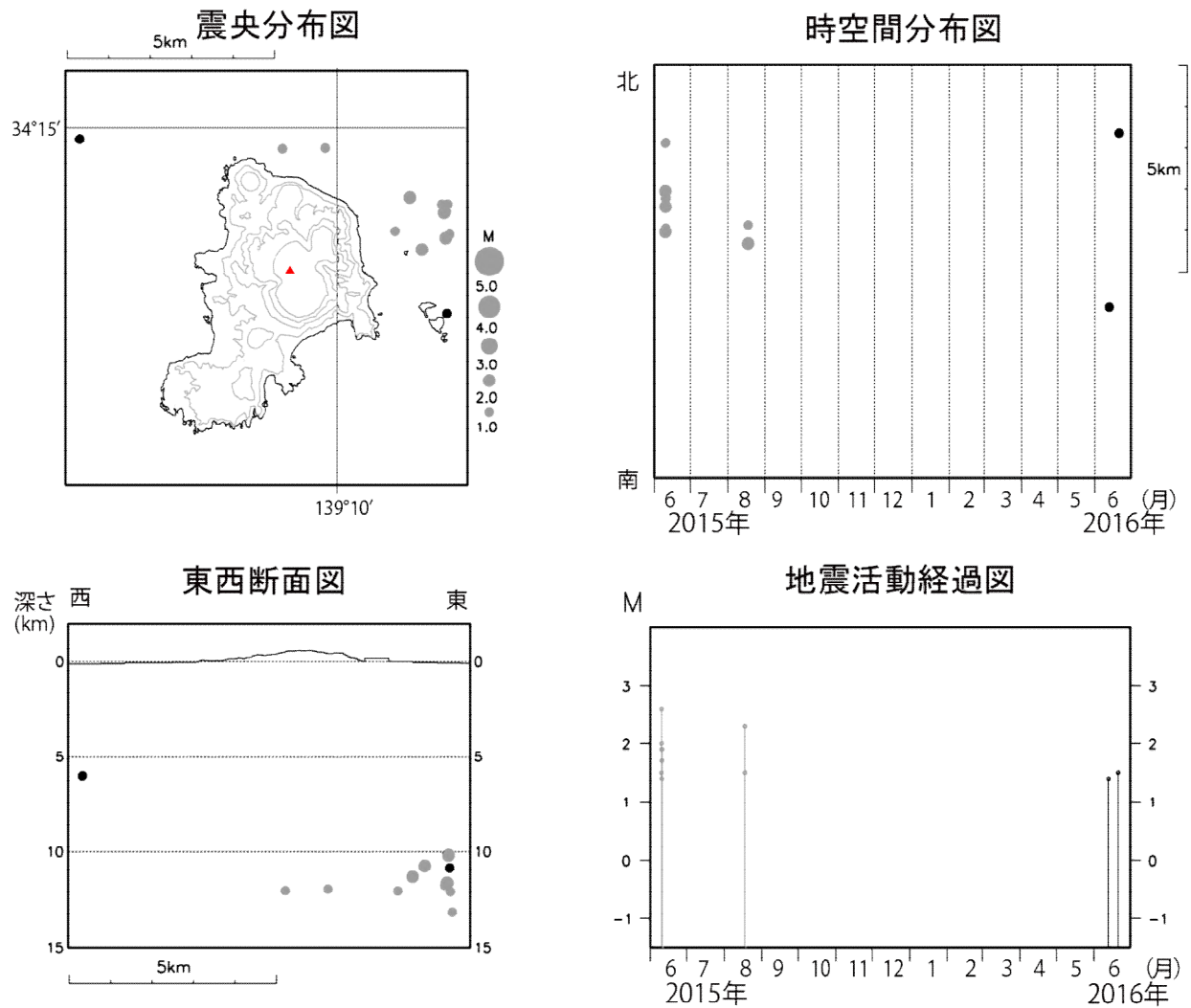


図 4 神津島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2015 年 6 月 1 日～2016 年 6 月 30 日）

- ：2015 年 6 月 1 日～2016 年 5 月 31 日 ●：2016 年 6 月 1 日～6 月 30 日
- ・ M（マグニチュード）は地震の規模を表し、M1.4 以上の地震を表示しています。
- ・ 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。